

日语相关惯用句（一）PDF转换可能丢失图片或格式，建议  
阅读原文

[https://www.100test.com/kao\\_ti2020/147/2021\\_2022\\_\\_E6\\_97\\_A5\\_E8\\_AF\\_AD\\_E7\\_9B\\_B8\\_E5\\_c105\\_147567.htm](https://www.100test.com/kao_ti2020/147/2021_2022__E6_97_A5_E8_AF_AD_E7_9B_B8_E5_c105_147567.htm) — A：意味と用例

- 1、 が上がらない = 相手のほうが立がいという例：父のほうが母より入が少ないので、父は母にがああらないようだ
  - 2、 が痛い = どうしていいか分からず、む例：もうすぐ卒だが、まだ仕事がつからなくてが痛い
  - 3、 が下がる = 相手の立派な度や行いについて尊敬したり感心させられたりする例：彼女は雨の日もの日も休まずにテニスのをする。あの努力にはが下がる思いだ
  - 4、 が固い = ひとつの考え方しか出来なくて、物事をく考えることがでない。例：父は女の幸せは婚して子供を生むことだけだと思っている。本当にが固い。
  - 5、 が切れる = の回が速い。がいい例：彼女はが切れるので、どんな仕事も的に理してしまふ
  - 6、 にくる = 怒り、不などでいっぱいの持ち例：彼は私のをるといつも鹿にしたように笑う、本当ににくる。
  - 7、 を使う = 考える。工夫する例：を使えばに出来る方法があるはずだ
- A：意味と用例
- 1、 いいをする = す。いいと思う例：家でタバコをすうと、妻はいいのをしない。
  - 2、 から火が出る = とてもずかしい思いをして、が真っ赤になる例：みんなの前で注意され、から火が出る思いをした。
  - 3、 がい = 多くの人に知られていて、知り合いが多い例：彼はがいから、めば婚相手をたくさん介してくれるでしょう。
  - 4、 を出す = 会合などに出席。参加する例：明日のパーティに、山田さんもを出すそうです。
  - 5、 泣き面に蜂 = 不幸なことの上

に、もっと不幸なこ他が重なる。例：の中で布を取られたので、警察に行こうと思ったら、の段からげ落ちてしまった、今日は泣き面に蜂の一日だった。三 耳朵 A：意味と用例 1、耳が痛い = 人に自分のいところを言われてくのがつらい例：よく考えないから失するんだといわれて耳が痛かった。2、耳がい = く力が弱くなって、はっきりこえない例：年をとればでも耳がくなる。3、耳にたこが出来る = 何度も同じことをかされる例：子供のとき耳にたこが出来るくらい「勉強なさい」と母に言われた。4、耳を疑う = いたことがすぐには信じられなくて、きいではないかと思う例：コンテストでする自信がなかったから、自分の名前を呼ばれたときには、嘘ではないかと耳を疑った。5、耳をける = 心にく例：人々は彼の意に耳をけた。四 眉毛、眼睛 (1) A：意味と用例 1、眉をひそめる = 心配やいやな持ちを表情に表す例：テレビで物がされる面をて、眉をひそめた。2、大目にする = しく叱らないで大にう例：スピード反で捕まったとき、大目にてもらおうと思ったが、だめだった。3、い目でる = (人や物事を) 今の子でめないで、をけて守る例：投のためにこんな地方の土地をうとをするようだが、もうすぐ大きな道路が出来て土地のも上がるはずだから、い目でれば得だ。4、目が高い = いいかいか、物のを分ける力がある例：彼女は目が高いから、そんな安物を上げると、すぐにばれるよ。5、目がない = いいかいか、物のを分ける力がない。とても好き例：1) 父は甘いものに目がないから、私はいつもお土にをう。2) こんな者を高い段でうなんて、目がないね。五 眉毛、眼睛 (2) A：意

味と用例 1、目が回る = とても忙しい。また、相の子例：今日は会社を休んだ人がたくさん居たので、目が回るほど忙しかった。2、目がび出る = とてもく。また、そのようす。(目玉がび出る) 例：日本は目がび出るほど物が高い。

3、目に余る = とてもひどくてていられない例：木村さんの度は目に余るから、注意したほうがいい。4、目に浮かぶ = そのにいないものの姿や子が思い出されたり想像できたりする例：木さんから子供が生まれたとがあった、木さん夫が喜んでいる姿が目に浮かんでくる。5、目に入る = ようと思わなくても、える例：ふとから外をると、しそうにんでいる子供たちが目に入った。

六眼睛 (3) A：意味と用例 1、目に入れても痛くない = 自分の子供やをととても可いと思う例：やはり自分の子は目に入れても痛くないほど可い。2、目にえる = はっきりそうだと分かる例：今、木さんからがあって、山田さんの婚がまったといた。山田さんの喜ぶようすがめにえるようだ。3、目の色をえる = (なにかを手に入れようと) - 生命になる。怒る例：蝶の好きな彼は、珍しい蝶をつけると目の色をえて追いかけていく。4、目を疑う = にたことが信じられなくて、とてもく例：しばらく会わないうちに彼女があまりにもせてしまったので、私は自分の目を疑った。5、目をける = 目上の人を特に助けたり、世をしたりする例：どうして督が力もない彼に目をけるのか分からない。

七眼睛 (4) A：意味と用例 1、目を配る = 注意してあちらこちらをる例：幼稚の先生は、子供たちが怪我をしないように目を配っていなければ成らない。2、目を皿にする = いたり、物を探したりす

るとき、目を大きくく。例：皆、目を皿にしてなぎが蝶になるところをていた。3、目を三角にする = 怒って、こわい目つきをする。目を吊り上げる。例：子供の言うことに本になって目を三角にするなんて、大人のすることじゃない。4、目を通す = など、かれたものの全体をにる。例：テストのときは、まずに目を通して、そうなものからはじめたほうがいい。5、目を盗む = 人につからないようになにかをする。例：子供のころ、よく母の目を盗んでお子を食べて怒られた。八眼睛(5)、鼻子A：意味と用例1、目を引く = ほかの人の注意を向けさせる例：この建物は高くて真っ赤になので、とても目を引く。2、目をくする = うれしかったり、可いと思ったりして微笑む例：ウエディングドレスをいたをて、母は目をくした。3、目を丸くする = いて、目を大きくく例：山田さんは朝御を5杯も食べるといっていた、それをいて、皆目を丸くした。4、鼻が高い = 得意な子。自慢する子例：弟の成がクラスで一番になって、勉を教えてやった私も鼻が高い。5、鼻にける = 人よりれていることを得意に思い、自慢する(その度をよく思っていないによく使う)例：林さんはきれいだが、それを花にけているので、皆に嫌われている。九口(1)A：意味と用例1、いた口が下がらない = 思わず口がいてしまうほど、いたりあきれたりする例：先もらった料はもう全部使ってしまった何で、いた口がふさがらない。2、口が重い = あまりさない例：祖父は争のが始まると口が重くなる、きつといやな思いだがたくさんあるのだろう。3、口がいは = してはいけないことはさない子例：山田さんは口がいか

ら、どんなことでも安心して相できる。4、口がいはしてはいけないこともしてしまう例：「にも言わないで」といったのに、林さんは皆にしてしまった、本当に口がいは人だ。5、口が滑る = 言ってはいけないことを、ついうっかり言ってしまう。例：ごめんなさい、口が滑って..... 十口

(2) A：意味と用例 1、口がいは人の持ちをつけることを平で言う例：山本さんは口がいはので、一にしをしていると、けんかになってしまう。2、口に合う = 食べ物の味がこの好みに合う例：私の手料理ですが、奥地に会いますかどうか。3、口を酸っぱくする = 同じことを何回もり返して言う例：先生は学生に、宿を忘れないように口を酸っぱくしていった。4、口をそろえる = たくさんの人が同じことを言う例：あの映画をた人は皆口をそろえて面白いと言う。5、口を出す = 他人のに割りんで意を言う例：これは夫のだから、母さんは口を出さないで。十一 牙、唇、舌 A：意味と用例 1、を食いしばる = 苦しさ、悲しさ、悔しさなどを一生命こらえる例：体が小さいからバスケットボールはやめたほうがいいといわれたが、日を食いしばってして、レギュラ手になることが出来た。2、が立たない = 自分の力ではかなわない例：このはしすぎて、私にはが立たない。3、唇をかむ = 悔しさや怒った持ちを抑えて我慢する例：私のいた作文が、いていとしてみんなの前でまれて、唇をかんだことがある。4、舌鼓を打つ = 美味しい食べ物を食べて舌をらず。舌鼓例：りょこうのしみは、今日どりょうに舌鼓を打つことだ。5、舌をく = 言もだないほど、いたり感心したりする例：彼女は5ヶ国を自由にせる。あの学

力にはしたをく。十二 顎、喉、頸 A：意味と用例 1、あごで使う = 威った度で思い通りに人になにかをさせる例：部は「タバコをってい」「お茶を入れる」と、女子社をあごで使っている。2、あごを出す = とても疲れ「もう、だめだ」という子をせる例：はじめからそんなにがんばると、途中であごを出してしまうよ。3、のどから手が出る = なにかがとてもほしい(のどから手が出るほどほしい)例：ボーナスが出たので、のどから手が出るほどほしいと思っていたカメラをった。4、首にする = 仕事をやめさせる。解雇する例：不景のため、社の半分を首にしなければならない。5、首をくする = 「まだか、まだか」と待ってる子。例：は面接を受けた会社からの通知を首をくして待っている。十三 肩、腕、指 A：意味と用例 1、肩をならべる = 地位や力が同じくらいになる例：一生命勉して、成がいい人と肩をべれるようになった。2、肩を持つ = 味方をする例：先生が特定の学生の肩を持つのはよくないことだと思う。3、腕がいい = 技がとてもいい例：彼は料理の腕がいいので、高レストランに就できた。4、腕が上がる = 上手になる例：いいコチに教えてもらったので、ゴルフの腕が上がって、することが出来た。5、指をくわえる = 自分もほしい。したいと思うが、出来ないので、ましく思いながら待っている子例：邪を引いて寝ている妹は、友が元になんでいるのを指を加えてみていた。十四 手(1) A：意味と用例 1、手が空く = 一区切りついて、暇になる例：やっと手が空いたから、食事にしよう。2、手がかかる = や力が必要で面倒だ。世をするのが大だ。例：子供がまだ小さくて手がか

かるのでい事をする暇もない。3、手が足りない=く人の数が足りない例：5人来るはずのアルバイトが二人しか来なくて、手が足りなくなった。4、手が出ない=自分の力ではどうすることも出来ない例：日本の勉を始めたばかりなので、こんなしいにはまったく手が出ない。5、手がない=方法や手段がない例：私の田は就先が少ないので、都会に出て行くよりほかに手がない。十五手(2) A：意味と用例

1、手がせない=そのことばかりに中したり忙しかったりして、ほかのことが出来ない例：今、忙しくて手がせないから、後にしてください。2、手に汗を握る=危な面や迫した状などをてしたりしたりする子。手に汗握る例：昨日た映画は手に汗を握る面が多くて、面白かったけど、ちょっと疲れたよ。3、手に余る=自分の力ではどうすることも出来ない例：娘の宿を手ってやったが、しくて手に余った。4、手に入れる=自分のものにする例：借金してやっとマイホームを手に入れた。5、手も足も出ない=どうしようもなく困る。何も出来ない例：今日の合は相手がすぎて、手も足も出なかった。

100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 [www.100test.com](http://www.100test.com)